

深江漁協の養殖車エビの出荷が始まりました！

11月13日、深江町漁業協同組合の吉田組合長と職員が養殖車エビの出荷開始を報告するため市役所を訪れました。

7月6日、養殖場に放流した稚エビ115万尾は、4ヶ月かけて1尾17cm/26gくらいの大きさに育ちました。

吉田組合長は「今年の子えびは、身は大きく、甘みが強く、また身の締まりも良く、プリプリで美味しく育ったので、ぜひ皆さんに味わってもらいたい」と話されました。

毎年、お歳暮や年始の贈答品として全国へ活きたままお届けしており、大変喜ばれています。

車エビは、薄い青褐色の体に縞模様があり、丸まった状態の様子が車輪に似ていることから車エビと呼ばれるようになったとされています。



内田農林水産部長、吉田組合長、漁協職員の中村、岩永

